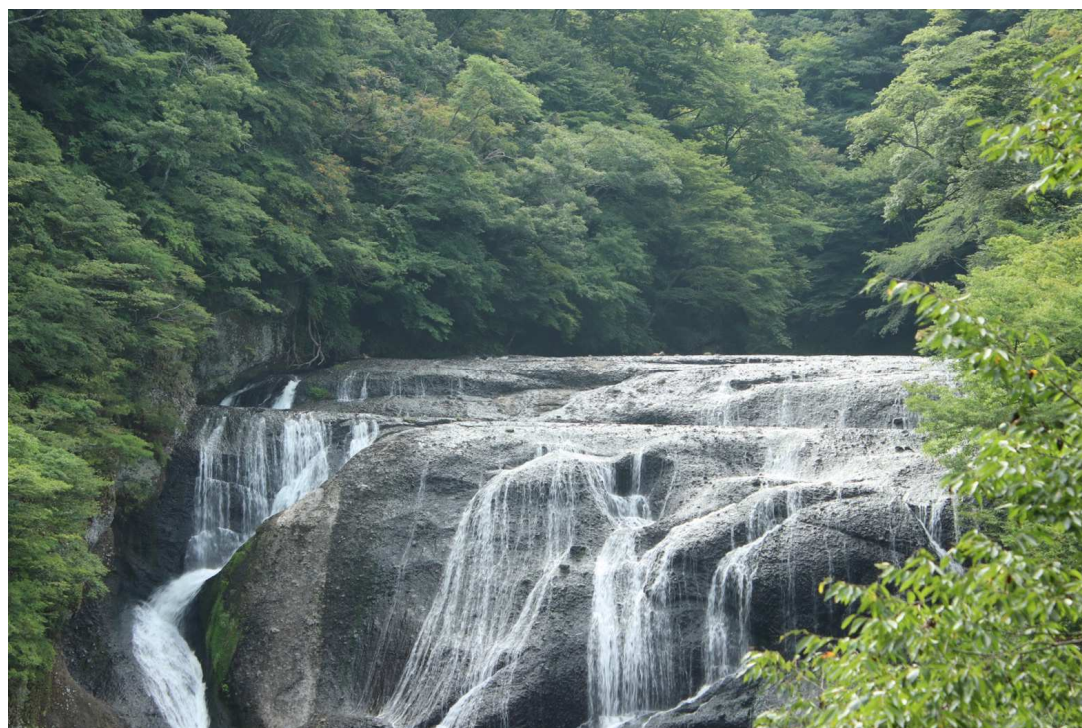


エコアクション21 環境活動レポート

活動期間：令和4年6月1日～令和5年5月31日



認証番号 0008571

第9版 発行日：令和5年7月14日



佐藤建設 株式会社

目 次

	(頁)
■ 組織の概要	2～3
■ 実施体制	4
■ 環境方針(基本理念)及び行動指針	5
■ 環境目標	6～7
■ 環境活動計画	8～9
■ 環境目標の実績	10～13
■ 環境活動計画の取組結果とその評価、 次年度の取組内容	14～16
■ 環境関連法規等の遵守状況の確認等	17
■ 代表者による評価と見直し	18

組織の概要

① 事業所名及び代表者名

佐藤建設株式会社
代表取締役 八木 利寛

② 所在地

本 社 〒425-0033 静岡県焼津市小川2710-1
平成30年6月 本社を上記に移転しました。
(関連施設：対象範囲に含める)
資材置場 〒425-0054 静岡県焼津市田尻738番地の2

③ 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 八木 克久
連絡先 TEL: 054-625-9133 / FAX: 054-625-9134
e-mail: info@e-sato-k.co.jp
ホームページ <https://www.e-sato-k.co.jp/>

④ 事業活動の内容

1) 土木工事業

許可を受けた建設業	許可番号	許可年月日	有効年月日
土木工事業	静岡県知事許可（特-4）第2105号	令和4年8月20日	令和9年8月19日
とび・土工工事業			
石工事業			
鋼構造物工事業			
舗装工事業			
しゅんせつ工事業			
水道施設工事業			
解体工事業			

2) 産業廃棄物収集運搬

事業の区分	許可番号	許可年月日	有効年月日
収集運搬（積替え及び保管行為を除く）	第02201174042号	平成30年10月16日	令和5年10月15日

I. 産業廃棄物の種類（※今年度実績無し）

廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
がれき類、紙くず、木くず、繊維くず、石綿含有廃棄物

II. 運搬車両

施設名	型式、寸法	自動車登録番号	規模、能力
いすゞ	ダンプ	静岡430せ3100	4000 k g
いすゞ	ダンプ	静岡430そ3100	3000 k g
ダイハツ	キャブオーバ	静岡 41つ493	350 k g
ダイハツ	軽ダンプ	静岡 480こ1100	350 k g

III. 受託実績と委託実績（令和4年度）

廃棄物の種類	受託量(t)	委託量(t)
コンクリート塊	0	838.292 t
アスファルト塊	0	881.63 t
廃プラスチック、木屑、金属屑、 石綿含有産業廃棄物他	0	60.918 t

⑤ 事業の規模(決算期間 期首・・・6月 期末・・・5月)

【創 立】：昭和62年4月30日 【創 業】：昭和 33年4月30日

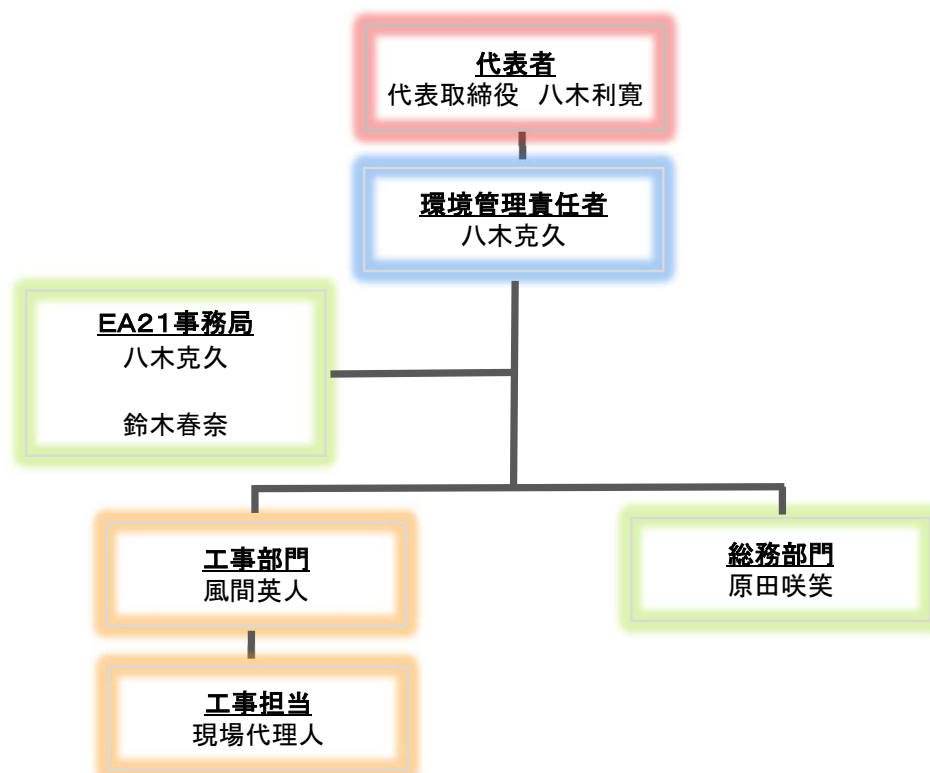
【資 本 金】：2,000万円

活動規模	単位	第34期	第35期	第36期
		R2・6～R3・5	R3・6～R4・5	R4・6～R5・5
売 上 高	千円	987,300	890,600	932,600
従 業 員	人	21	22	21
事務所床面積	m ²	359.8	359.8	359.8
倉庫面積	m ²	105.9	－	－
資材置場面積	m ²	1,082.9	977.0	977.0

⑥ 認証・登録範囲

全事業活動（産業廃棄物収集運搬は自社受託のみ）と全組織

実施体制



担当	役割・責任・権限
代表者 (代表取締役社長)	・環境方針の制定、改定及び全社員への周知 ・環境管理責任者の任命 ・エコアクション21実施における資源(人材・設備・費用等)の準備 ・環境経営システムの構築、マニュアルの制定・改定承認 ・システム全体の評価と見直し実施
環境管理責任者	・環境マネジメントシステムの構築、実施及び運用管理の総責任者 ・環境マネジメントシステム全体計画の立案、規定類の整備 ・環境活動経過・実績を代表者に報告 ・環境事務局の文書作成案に対するチェック及び改定の指示
EA21環境事務局 総務責任者	・エコアクション21における文書の作成、管理 ・環境目標及び環境活動計画案の作成規定類の整備 ・全社員に環境教育を行う ・システム運営上の事務管理
工事責任者 工事担当者	・各部門における環境マネジメントの計画立案・実施 ・実施状況の確認・記録の作成、管理 ・問題点のチェック及び是正・予防処置の実施 ・作業教育及び緊急事態の施行及び訓練の実施
全社員	・環境方針の確認・理解、目標・活動計画の実践 ・各個人における環境マネジメントシステムの実施

環境方針

《基本理念》

当社は、経営理念として仕事を通じ、世の中のお役に立ち、地域社会と共に豊かなくらしを創造しますを掲げています。

環境負荷について、良く理解し環境負荷削減を全員一丸で積極的に取り組み、環境経営の継続的改善を図りながら地球に良い環境づくりを目指し循環型社会の構築に貢献します。

《環境保全活動への行動指針》

- ① 当社に適用される環境関連法規制及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
- ② 次の事項について具体的な環境目標及び環境活動計画を定め実施します。
 - 1) 事業所及び現場で使用するエネルギー低減により二酸化炭素の排出量を削減します。
 - 2) 建設廃棄物の発生抑制・削減・再利用・リサイクルの推進に努め廃棄物排出量を削減します。
 - 3) 節水により総排水量を削減します。
 - 4) グリーン購入を推進します。
 - 5) 環境に配慮した工事施工の実施に取り組むとともに、地域ボランティア活動を通じて積極的に社会貢献活動に参加実施していきます。
- ③ 環境経営の継続的改善を誓約します。
- ④ 全社員に対して環境教育を通じてこの環境方針を周知・実行・維持させて、社外に対しては、必要に応じて環境活動レポートを公表いたします。



改定：令和 4 年 6 月 24 日
制定：平成 23 年 12 月 1 日

SATO 佐藤建設株式会社

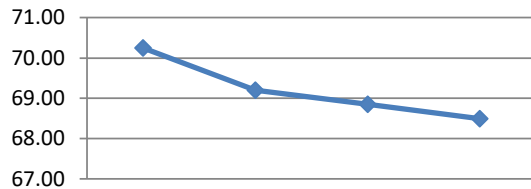
代表取締役 八木利寛

環境目標

■ 二酸化炭素

基準

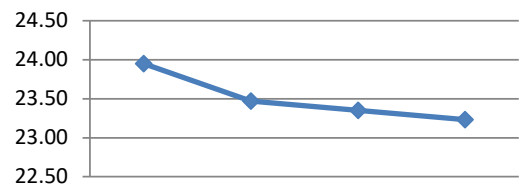
目標	2年度	5年度	6年度	7年度
対売上実績	70.25	69.20 (-1.5%)	68.85 (-2.0%)	68.49 (-2.5%)



■ 事務所購入電力

基準

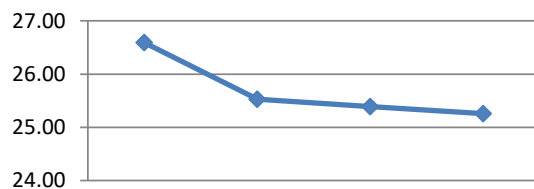
目標	30年度	5年度	6年度	7年度
対売上実績	23.95	23.47 (-2.0%)	23.35 (-2.5%)	23.23 (-3%)



■ 現場購入電力

基準

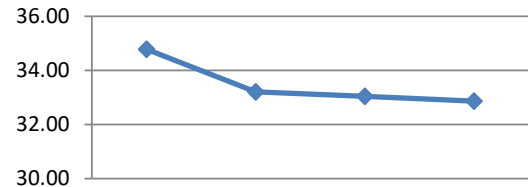
目標	27年度	5年度	6年度	7年度
対売上実績	26.59	25.53 (-4.0%)	25.39 (-4.5%)	25.26 (-5.0%)



■ ガソリン使用量

基準

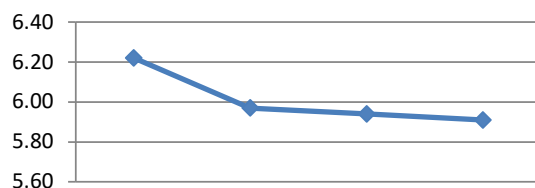
目標	27年度	5年度	6年度	7年度
対売上実績	34.78	33.21 (-4.5%)	33.04 (-5.0%)	32.86 (-5.5%)



■ 軽油使用量

基準

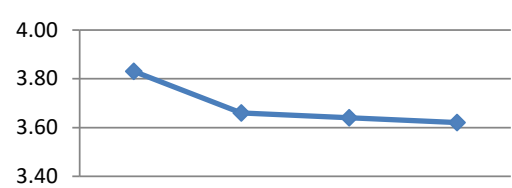
目標	28年度	5年度	6年度	7年度
対売上実績	6.22	5.97 (-4.0%)	5.94 (-4.5%)	5.91 (-4.5%)



■ 現場軽油使用量

基準

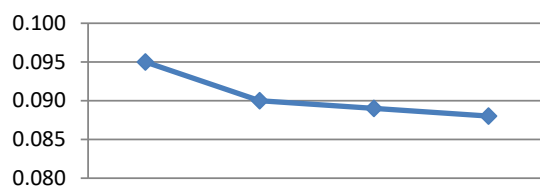
目標	28年度	5年度	6年度	7年度
対売上実績	3.83	3.66 (-4.5%)	3.64 (-5.0%)	3.62 (-5.5%)



■ 総排水量

基準

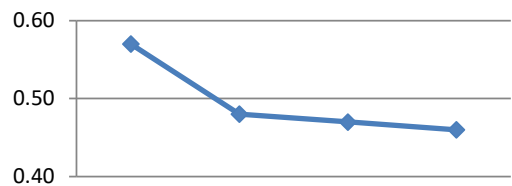
目標	30年度	5年度	6年度	7年度
対売上実績	0.095	0.090 (-5.0%)	0.089 (-6.0%)	0.088 (-6.5%)



■ 一般廃棄物排出量

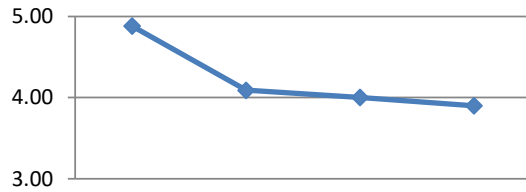
基準

目標	27年度	5年度	6年度	7年度
対売上実績	0.57	0.48 (-16%)	0.47 (-18%)	0.46 (-20%)



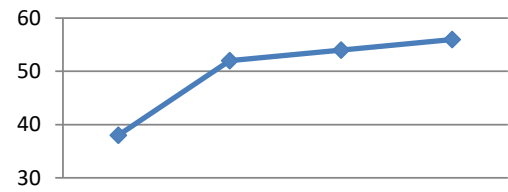
■ 産業廃棄物排出量

基準				
目標	27年度	5年度	6年度	7年度
対売上実績	4.88	4.09 (-16%)	4.00 (-18%)	3.90 (-20%)



■ グリーン購入・文具

基準				
目標	28年度	5年度	6年度	7年度
品目数	38 (28年度)	52 (前年+2品目)	54 (前年+2品目)	56 (前年+2品目)



【目 標】

- ・基準年度は平成27、28年度を基本とし、基本的に3年間を一サイクルとする。
- ・現場軽油、乗用車軽油、グリーン購入・文具(品目)は平成28年度に現状把握し、翌年度から削減目標を掲げる。又、上記項目については、基準年度は平成28年度とする。
- ・本社移転を契機に、二酸化炭素、事務所購入電力、総排水量は、平成30年度を基準年とした。
- ・「環境目標及び実績基準年度」の環境効率指標は(実績/売上高[百万円])による目標設定と比較し達成状況を報告する。

数値の変化が激しい場合は、基準年度の見直しを検討し、必要ならば変更する。

※購入電力の実排出係数は0.497kg-CO₂/KWH(平成26年度)とする。

環境活動計画

■電力の削減 [担当 鈴木春奈]

- 1) エアコンの設定温度を夏26℃±1冬23℃±1に設定
- 2) 不使用時、休憩時照明灯の消灯の実施
- 3) パソコンの電源管理(不在時にはスタンバイモード・帰宅時は、電源OFF)
- 4) クールビズ・ウォームビズを推奨

■一般廃棄物の削減 [担当 鈴木春奈]

- 1) シュレッダーは重要な書類のみ行う
- 2) 社内文書の電子化、共有化(回覧等)で配布文書を低減する
- 3) コピー用紙の裏紙使用を徹底する
- 4) コピー前、画面の再確認を行いミスの減少に努める
- 5) 新聞、雑誌、段ボール等紙類のリサイクル

■廃棄物排出量の削減 [担当 風間 英人]

- 1) 建設リサイクル法に基づき解体物等の適正処理産業廃棄物の分別回収の徹底

■ガソリン使用量の削減 [担当 大滝 司]

- 1) 全車両のエコ・ドライブの周知
 - I. アイドリングストップの実施
 - II. 自動車のスロースタートの励行
 - III. エンジンブレーキの積極使用
 - IV. 夏のエアコンは1度高めに設定
 - V. タイヤの空気圧をチェック

■総排水量の削減 [担当 原田咲笑]

- 1) 節水シール表示
- 2) 水道の栓の閉め忘れに注意する

二酸化炭素排出量の削減

■グリーン商品(文具)の優先購入 [担当 鈴木春奈・原田咲笑]

■地域ボランティア活動の実施・環境に配慮した工事施工の実施

[担当 風間 英人]

- 1) 地域に密着してボランティア活動に積極的に参加し、協力、支援を行う。
- 2) 環境に配慮した機械の使用、施工方法の実施、再生材料を積極的に利用する。

《ゴミの分別》



コピー用紙の分別



分別ゴミ箱

《節水》



節水シールによる促し(流し台)



節水シールによる促し(トイレ)

《節電》



温度シールによる促し



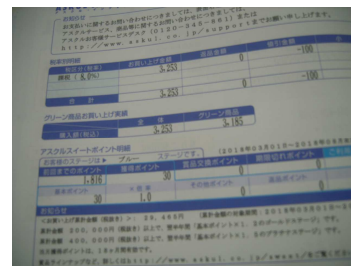
節電シールによる促し



《グリーン商品購入》



グリーン商品の購入



アスクルでグリーン商品の購入

環境目標の実績

■ 二酸化炭素

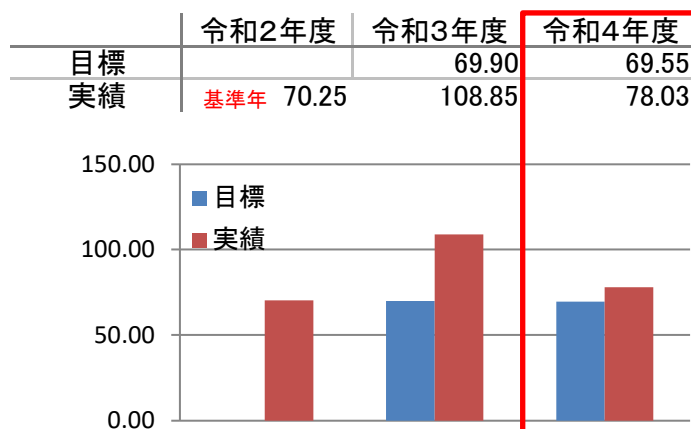
実績

72,772.35

対売上実績

78.03

(実績÷売上高)



評価

×

■ 事務所購入電力

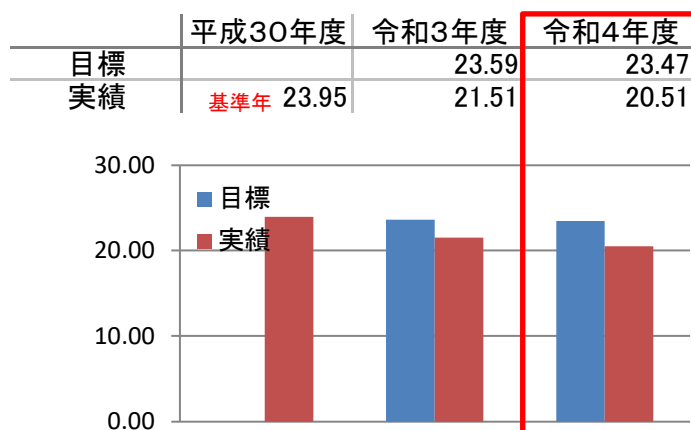
実績

19,130.3kWh

対売上実績

20.51

(実績÷売上高)



評価

○

■ 現場購入電力

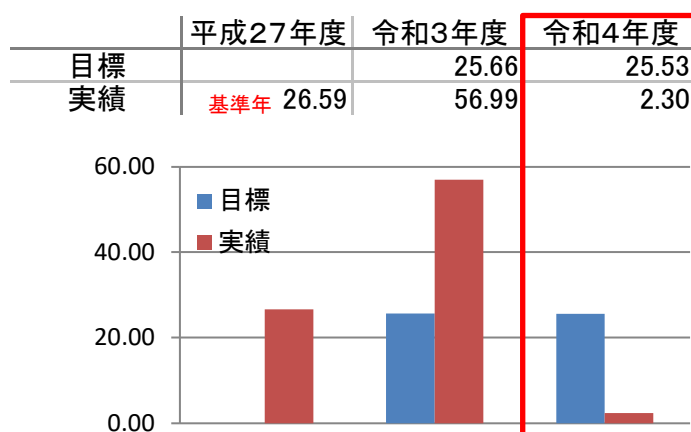
実績

2,148kWh/m3

対売上実績

2.30

(実績÷売上高)



評価

○

※現場仮設電力料金(中部電力)からの購入金額¥654,575(現場臨時電力料金)

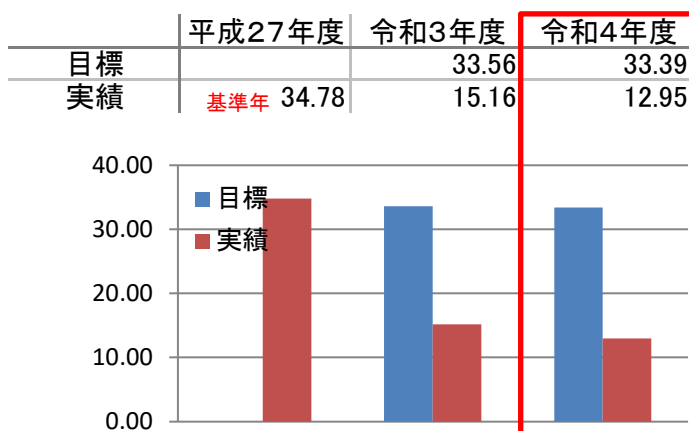
■ ガソリン使用量

実績

12,079.2_L

対売上実績

12.95
(実績÷売上高)



評価



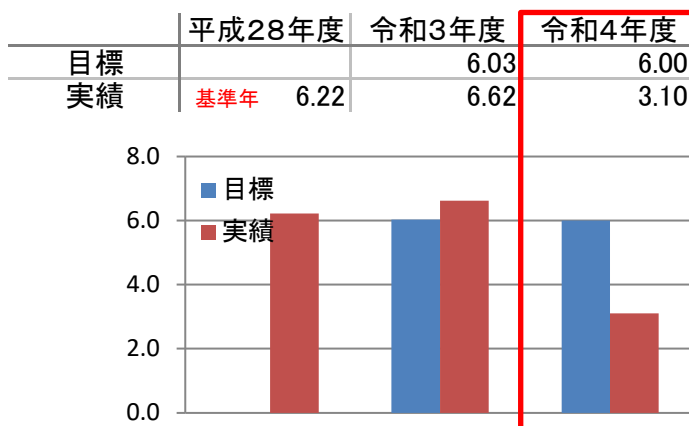
■ 軽油使用量

実績

2,892.3_L

対売上実績

3.10
(実績÷売上高)



評価



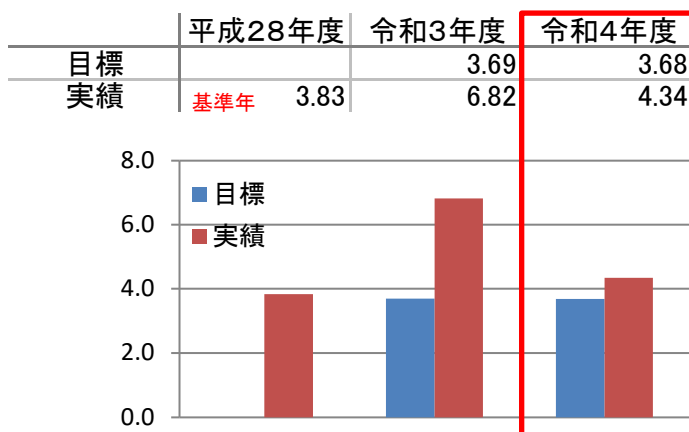
■ 現場軽油使用量

実績

4,050.5_L

対売上実績

4.34
(実績÷売上高)



評価



■ 総排水量

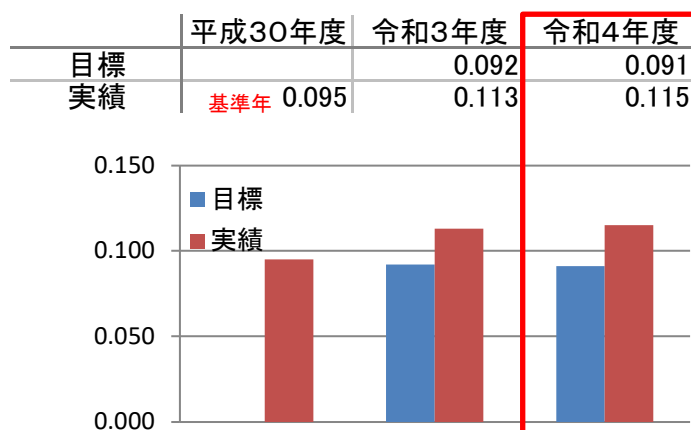
実績

107.4m³

対売上実績

0.115

(実績÷売上高)



評価

×

■ 一般廃棄物排出量

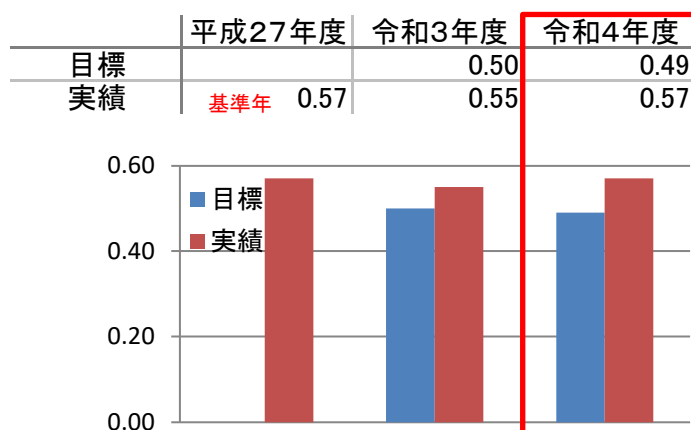
実績

537kg

対売上実績

0.57

(実績÷売上高)



評価

×

■ 産業廃棄物排出量

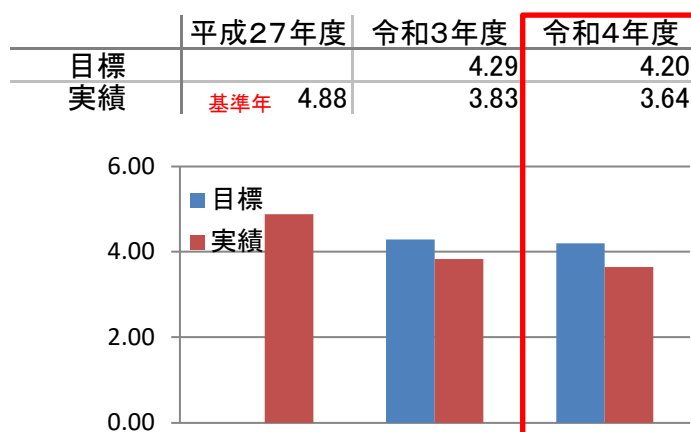
実績

3,403t

対売上実績

3.64

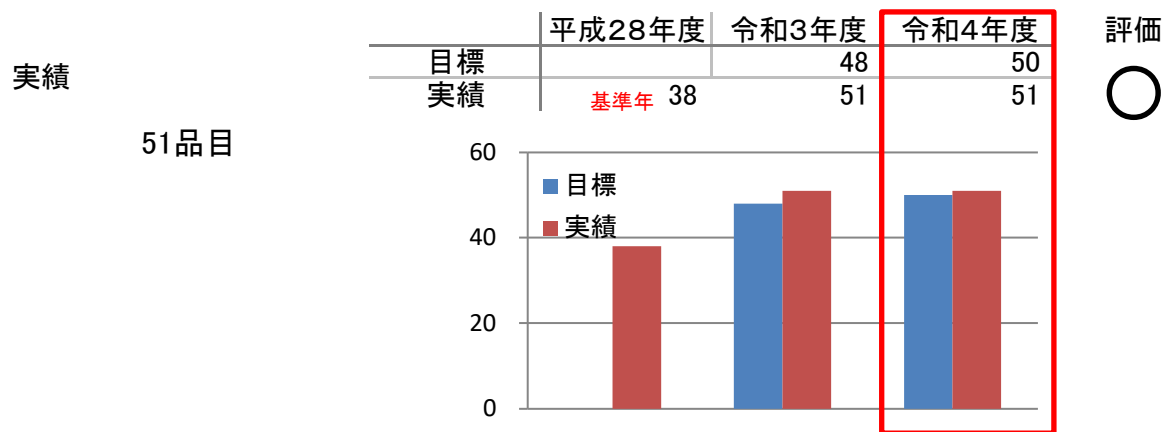
(実績÷売上高)



評価

○

■ グリーン購入・文具



<参考>CO2排出量の推移

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
CO2排出量 (Kg-CO2)	71723.86	70704.97	96942.20	63044.30	

※購入電力の実排出係数は0.497kg-CO2/KWH(平成26年度)とする。

環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

担当者[八木 克久]

二酸化炭素排出量の削減

6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月

評価

総合評価

・現場購入電力、軽油、現場軽油、一般廃棄物、総排水量使用量は増加しているが引続き削減意識をもって取組みを行う。

×

次年度の取組

・毎月、目標と実績を朝礼にて報告し削減努力の意識付けを図る。

担当者[鈴木 栄一]

全車両のエコ・ドライブの周知

6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月

評価

総合評価

・エコドライブの周知は定着できた。

○

次年度の取組

・引き続き燃料管理表の作成を徹底し、燃費を意識してもらいます。
・駐車場等停車時にはアイドリングストップを実施します。

担当者[鈴木 春奈]

エアコンの設定温度を 夏26℃±1℃冬23℃±1℃に設定

6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月

評価

総合評価

・事務所電力削減には、サーキュレーター、上部循環羽の併用をして削減努力を行った。
引き続き意識従業員皆で意識する。

○

次年度の取組

・日々のエアコン温度管理は環境変化に対応し、コロナウイルス蔓延を防止対策として複数回換気を実施します。

担当者[鈴木 春奈]

不使用時、休憩時照明灯の消灯の実施

6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月

評価

総合評価

・昼食時の事務所不要な蛍光灯の全消灯の徹底ができました。

○

次年度の取組

・昼食時、照明灯消灯を推進し、削減努力を行う。

担当者[鈴木 春奈]

パソコンの電源管理(不在時にはスタンバイモード・帰宅時は、電源OFF)

6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月

評価

総合評価

・常にスタンバイモードを利用できています。

○

次年度の取組

・帰宅した人のパソコンが付いていたら、気づいた人が電源をオフを行う。

担当者[八木 克久]

クールビズ・ウォームビズを推奨

6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月

評価

総合評価

・サーキュレーター、上部循環羽の併用をし、可能な限り目標温度設定範囲内で取組を行った結果目標値以下となった。

○

次年度の取組

・6月～9月末まで室温に合わせた軽装勤務を推奨する。
・10月～3月末まで事務所職員は、ひざ掛けやストール室温に合わせた服装を推奨する。

担当者[風間 英人]

廃棄物排出量の削減

6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月

評価

総合評価

- ・社員の増加により、前年よりゴミの量が増えてしまった。
- 次年度の取組
- ・一人ひとりにゴミ削減の意識を持ってもらうように周知する。



担当者[鈴木 春奈]

シュレッダーは重要な書類のみ行う

6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月

評価

総合評価

- ・全社員徹底でき、シュレッダーの量はかなり削減できた。
- 次年度の取組
- ・シュレッダー上部に注意喚起の文字を明記する。



担当者[鈴木 春奈]

社内文書の電子化、共有化(回覧等)で配布文書を低減する

6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月

評価

総合評価

- ・LINEを活用し、必要事項は電子化できています。
- 次年度の取組
- ・社内文章は、昨年同様に電子化を進める。



担当者[鈴木 春奈]

コピー用紙の裏紙使用を徹底する

6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月

評価

総合評価

- ・裏紙が不足する位常用化できています。
- 次年度の取組
- ・裏紙が足りなくなる時期があるので、両面印刷済に間違っ入れてしまう裏紙を定期的に確認する。



担当者[鈴木 春奈]

コピー前、画面の再確認を行いミスの減少に努める

6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月

評価

総合評価

- ・ミスが多い人とあまりない人がいます。多い人には再度徹底を促す。
- 次年度の取組
- ・朝礼時に印刷プレビューの活用を呼びかける。



担当者[鈴木 春奈]

新聞、雑誌、段ボール等紙類のリサイクル

6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月

評価

総合評価

- ・ゴミの分別を2020年から更に徹底しています。それに伴い古紙が増え燃えるゴミの量が減りました。
- 次年度の取組
- ・資源回収BOXへの処分徹底します。



担当者[風間 英人]

廃棄物排出量の削減(産業廃棄物) (建設リサイクル法に基づき解体物等の適正処理 産業廃棄物の分別回収の徹底)

6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月

評価

総合評価

- ・全社員が削減意識を持って取組んだ結果、達成が出来た。工事の内容に伴い今年は増加した。
- 次年度の取組
- ・今年も継続して推進する。



担当者[原田 咲笑]

排水量の削減

6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月

評価

総合評価

- ・手洗い時、洗い物の時など、次年度はもう少し意識してもらうようにする。

次年度の取組

- ・手洗いする時、洗い物をする時の水の量を調整して削減努力を行う。

×

担当者[原田 咲笑]

節水シール表示

6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月

評価

総合評価

- ・節水シールは、手洗い場に見えるところに貼ってあるので、意識徹底できた。

次年度の取組

- ・月に1度社員全員に注意喚起を行う。

○

担当者[原田 咲笑]

水道の蛇口閉め忘れに注意する

6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月

評価

総合評価

- ・水道の蛇口閉め忘れは1件もなく実施できた。

次年度の取組

- ・1日に2回水道蛇口閉め忘れを確認を行う。

○

担当者[鈴木 春奈]

グリーン商品の優先購入推進

6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月

評価

総合評価

- ・グリーン商品購入を積極的に行っています。

次年度の取組

- ・今後も、品数を増やすために、購入時には積極的エコ商品を購入します。

○

担当者[八木 克久]

避難訓練の実施

6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月

評価

総合評価

- ・毎年9月に避難訓練実施、12月にSNSを使用した避難伝達訓練行っている。

次年度の取組

- ・今年も継続して実施する。受注工事の中から3現場実施訓練を行います。

○

担当者[久保田 誠]

地域に密着してボランティア活動に積極的に参加し、協力・支援を行う

6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月

評価

総合評価

- ・毎年行っている自社と地元住民合同のボランティア活動(石津浜公園地域の公園及び周辺の清掃作業)を実施しました。実績1回/年

次年度の取組

- ・毎年行っている合同のボランティア活動(年1回)、新たにポートサポート活動(年/3回)を継続して行う予定とするが、社会環境変化に応じて参加人数を検討します。

○

担当者[鈴木 栄一]

環境に配慮した機械の使用、施工方法の実施、再生材を積極的に利用する

6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月

評価

総合評価

- ・ICT機械施工使用して1件の現場施工を行い工期短縮現場は、2件実施。その他の機械は、排出対策3次基準、燃料効率の良い機械の使用にて施工を行った。

次年度の取組

- ・自社施工時の使用機械は、排出対策3次基準機械の使用にて施工する。
- ・工事での埋戻し材、アスファルト合材は再生材を使用して施工する。
- ・受注工事から1件/年、工事期間の短縮、工事内容に応じてICT機械施工を1件/年検討・実施する。

※総合評価基準 ○ : 達成

△ : 80%以上でほぼ達成

× : 80%以下で未達成

○

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

1. 環境関連法規等の遵守状況

・法規制等が最新であることを確認いたしました。

令和5年5月31日
確認者：八木 克久

当事業所に適用される下記環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

法規・条例・規制	適用内容または規制基準値	備考	遵守状況確認日	確認結果
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物収集運搬業者・処分業者との委託契約	契約(書)の締結	R5.3.31	○
	電子マニフェストの管理 マニフェストの管理 マニフェストの保管	土・日曜日、祝日・振替休日、12月29日から1月4日 含まず(3日以内) A、B2、D、E票の保管 5年間保存(電子、紙共通)	R5.3.31	○
	産業廃棄物の運搬、処分は許可 を受けた者が実施する。	廃棄物処理方法の明確化 収集運搬業許可更新(～R4.8.19)	R5.3.31	○
	産業廃棄物管理表の交付状況報告書 多量排出事業者報告書(1000t/年以上)	4月1日～3月31日迄に交付したものは6月30日までに提出	R5.3.31	○
建設リサイクル法	廃棄物を種類に応じた施設への適切な搬出	対象工事(500万以上)契約時の提出	R5.3.31	○
静岡県産業廃棄物の適切な処理に関する条例	産業廃棄物管理責任者の設置 処理先の実地確認・記録の保存	年1回5年間保存 管理責任者 八木克久	R5.5.31	○
PCリサイクル法	OA機器の収集	パソコン・モニター他	R5.5.31	該当なし
家電リサイクル法	指定家電の収集	テレビ・冷蔵庫 他	R5.5.31	該当なし
自動車リサイクル法	引取業者への引渡し	リサイクル料金の支払い	R5.5.31	該当なし
騒音・振動規制法	規制基準の遵守	特定建設作業の届出(開始日7日前)	R5.5.31	○
地球温暖化対策推進法	温室効果ガス抑制措置	自治体施策へ協力	R5.5.31	該当なし
グリーン購入法	環境物品の購入	事業者の一般的責務	R5.5.31	○
道路交通法	道路規制時	着手前迄に道路使用許可の届出	R5.5.31	○
消防法	火災の予防	事務所・現場の火災予防	R5.5.31	該当なし
浄化槽法	定期点検	1回/3ヶ月 業者・・・(有)環境保全センター	R5.5.31	○
	定期清掃	1回/年 業者・・・点検記録で確認	R5.5.31	○
	第11条定期検査	1回/年 業者・・・静岡県生活科学検査センター 令和2年10月2日	R5.5.31 R5.5.31	○ ○
フロン排出抑制法	簡易点検(1回/3ヶ月)	点検リストによる	R5.5.31	○

2. 違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

代表者による評価と見直し

運用が11年目になるが、社員全体のエコアクションに取り組む姿勢は定着し、実践しているが各環境目標に対して毎年達成、未達成が変化しているが会社全体には削減する意識は感じられるが事務所内の電力削減努力には限度があるように感じる。建設業においては、受注工事の内容及び受注件数により産業廃棄物排出量、現場購入電力量など等が年度ごとに異なり、目標値設定課題となっていたが、実績/売上高に目標設定に変更したが、今年は10項目中6項目しか達成することができなかった。未達成の現場軽油使用量については自社所有建設機械増大と水路工事による現場軽油使用量によりによるものであり、総排水量の増加は新型コロナウイルス対策により手洗い、うがいの推奨によるものと社員人数の増員結果であると考えが、引続き削減努力を常に意識することを期待する。企業として持続可能社会に貢献する必要があると感じSDGsの取り組みも行っています。又、当社は、経営理念として仕事を通じ、世の中のお役に立ち、地域社会と共に豊かな暮らしを創造しますの元、今年の3月30日に当社、焼津市役所、焼津漁港管理事務所とポートサポーター活動(地域ボランティア活動)の調印を行い、ボランティアを通じ環境に対する意識等を今まで以上に従業員に定着させたい。最後に、環境変化により梅雨時期には線状降水帯の発生、台風時期には、前例を超える降水量が全国各地で確認されており、建設現場に携わる会社として施工時の環境対策低減を今迄以上に実践し取り組んでくれることを期待している。尚、環境方針、環境目標、活動計画、実施体制については従来通りとする。

令和5年6月24日

佐藤建設株式会社
代表取締役 八木利寛